ふんなぐる(し参照) 意志のないのに無理 ふむ	ぶんながす 流す ふみでえ	ふとりやぐ(〃) 一人役	ふとりこで(〃)自然に、一人で ぶまにまる	ふとりこ(し参照) 単独	ふんどりげんす とりかえす ぶまげる	ふとめえわり(/) 靴かしい ふぼど	ふとめえ(/) 人前、一枚の莚の三分 ふほつ	ふとめ(〃) 人見知り ぶんばる	ふとまり(〃) 一まわり ふまずく	ふとね(1) ひとね	ふとにえがってすぎた(ク)ってすき ふんばずぐ	也二等	ふとどり(〃)人通り ぶんぬぎ	ふととりへん)しっととり参照。なもり	ふとたなぎ(〃)ひと抱えぶんなげる	ふとずも(し参照) 少しも ぶんなぐる
ける、ふみつける	こえ 踏台	恋文	にまる へまをした	りる くっと曲げる	りる負ける、流し落す	ふぼど(し参照) いろり	ふほつぎ(ぐ) 不法者	る ふんばる、一層努力する	9 (//	9 (グ	ずぐけとばす	ふねこながす 盆の十六日の精霊舟流し	ぎ	9) 渡守	げるなげとばす	ぐるなぐりつける
ふる	ふります	ふりこなげ	ーぶり	ふ れ	ふるす	ふる	ふ り	ふらんぼたげ	ぶふらめぐ	ぶらさげる(ざ	ふらえる	ふよ	ふやす	ふんもぐりげれ	ふもぎる(し参	ふふんめえる
はねのける、古いひろう、いどまれたのを	ふり廻す	なげとばす	り、おなごぶり)(五日ぶり、しぃやすぶり、しぃやすぶ		"	"	古い	たげる乱暴をする・	ふらふらする	る(がる) ぶらりとさげる	ふられる	冬	宣伝する.増す	ふんもぐりげたす ひっくりかえす	(し参照) もぎとる	ふみしめる

ふれ(し、す参照)広い、古い	ふるめえ	ふるめえ	ふるでや	ふるで	ふるすぎしろ		5	ふるす(し参照)	ふるげる(し参照)	ふるげ	ふるくしえ	ふるがねや	ふるがね	ふるがね	ふるう	- ぶ る
)広い、古い	古米	ふるまい	古物屋	古着	ふるすぎしろろげる ほらをふく	頭をおいあごに結びつけ	対角線を折目にし、冬に風呂敷、婦人が風呂敷の	すりうす	心) 広げる	大小便(肥料)の振り桶	古い、珍しくない	古物屋	古物	古銭	ひろう	る) なりをする(えしぃとぶ
ーベえ	\ ~	一~(し参照)	^		^		ぶんます	ふんまぐりげ▲	ふんどすかずぎ三等二足	ふんだでえねれ	ぶんこ	ぶんげえに	ぶふ わ め ぐ	ふわだ	ふれる	ふれる
11 .	(えぐべ) しょう (そすべ) (えぐべ) しょう (そす	ーしろ、ーやれ(そへ)	稗 、屁				コンパス	んまぐりげえす 捻挫する	さ三等二足	えん 乱雑なさま 足のふみ場がない程。	きざみの煙草入	意外に	ふわふわするさま	魚のはらわた	広く知らせる	ふるえる
へえず(し、す、そ、ほ参照) そいつ、それ	へえざ	べれっこに	べ、たった	べやっこ	ベルベル たっこ	べえこ(す、は	へえがず	~^ * * *	ベーえ	へえ 1	へうなつ	へらずへ	へら(えった、っ	へわあねえ	へあがる	ーベえが
そ、ほ参照)そ	はや	小さく	小さな	"	少し、小身	は参照) 新しい芽	盃数	杯	倍	いえ	いうな) いうそうだ	、って)(そ、し参照)いう	いわない	はいあがる	"
いつ、それ	A Comment	,						•					飛) いう		•	(念をおす)

へずねえ(し参照)つらい	べご	― べが だろうか (他人へ)
へすこむ 無理におしこむ	へげるはげる	へれる(う)
ヘずぐ(がねぇ、げ)(し参照) 督促する	へけぇっこ神粥	へえる(らねぇ、るな、れ)入る
べんじえもの・	へぐな(〃) 急ぐな	へえりぐず入口
べずえものむし菓子、餅団子	へぐ(がねぇ、げ、げでは)(/) 急ぐ	―べえり(は参照) ばかり
ーベす しょう(誘引)(えぐべす)	へげこ(〃) 〃	へえまる
へず(し、そ参照)それ	へげ (し参照) 堰	ぺえぺえずも ふんどし担ぎ
へしゃっかげる 鹿にする 他人を小馬・	◇ ぎ	ペ えべえ 地位の低い者、技術未熟
へぱるこ・	盆	へえふっか げる 鳥類の交尾
へっこ ぼ(し参照) せむし	へぎ板で作ったお盆	へえば(し、そ参照) いえば
ペこぺこ 頭をさげてへつらう	こめぐ(〃) せかせか急ぐさま	ーベえな (えぐべぇな)
へっこだまる(れ) へこたれる	、こへこ (、) 力つき呼吸が乱れるさ	一 べえな 一だろう (おもべぇな)
ベ ご じょり 付属品のない簡単なそり	、がねえ(し参照) 急がない	へえってごじたおはいりなさい
へっこぐ(がねぇ、げ)(し参照) 骨をおしむへっこぐ(がねぇ、げ)(し参照) なまける	から神から	ーベえすかーそうでしょうね
へやみ(し参照)	へかえだ(し参照) 製板後の不要板	べえつとす
へっこぎ(し参照) なまけ者	ーベすか・(敬語)	べれとす
べどっと、小牛	ーベが (自分)	べんす 吐きだす

					•					.						
へんだども	へだって	へだたてしこ	へだへで	へだだすこと	へだすけ	へたけす	へたけ	べだくた	へんだぐ(〃	へった(わねぇ)	べそめぐ	べそっと	へずる	へんずり(し参照)	へずま	ヘすま
,	"	だたて(し、ほ、ん参照) だろうけれども	"	へだだす(し、そ参照)それだから	技の下手な者	いったよ	いった	形のくずれたさま)衣服	へった(わねぇ)(し参照)(へたけな、へたなく)	めそめそするさま	がっかり 意気消沈、滅いったさま	へらす	畑) 手淫、せんずり	へつま	ふすま
べったらゆぎ	べった	へっけ	へっちょぬげ	へっちょはぐ()	べちょつぐる べそをかく	へっそう	へっちょこ	へっちょ	へった れ	へだら、そ、ほ、ん	ぺためぐ	へだまる	へたばる	へだば、そ、ん参	へだて	ペたっと
みぞれ	めんこ	屁を食らへ	いくじなし	っちょはぐ(し参照)遠くなる、気が	べそをかく	11	"	へそ	鹿にすることばよく放屁する人、人を馬	だら(そ、ほ、ん参照) それならば	べたべたする	へだたる	よわる、ひれふす	だば(そ、ん参照) そうであるならば	っても	平らに
へんどな(し参照) 先日、先頃	へどいえこ	へてらへ	へてけらへ	へでくねぇへ	へでぐじえ	へてぐじれ(しょ	へでぐてし、ち参	へでえなはな	へんでえ(そ、ほ、ん参照) それでは	へてえけんさ 徴兵検査	へてえ(し参照)	へで	~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~	べっと	へってぐじょ	べつちょり
)先日、先頃	凹んだ処	ク) いっていた	/) いってやる	え リ リ (リ)	へでぐじえ(〃)入れて下さい(〃)	(し参照) いって下さい(敬語)	、ち参照)つれて行く	"	ん参照)それでは	微兵検査	入れたい	だから	と、ねべっと)	別当、神官	いって下さい	の音 物のつぶれるさま、又そ

へべえ ク 入れてやろう	へばつねえ	へばけ、狭い	―へば(し参照) すると、すれば	へねえ出来ない	へねえ、入れない	へにす(し参照)背おわせる	へなめぐ(よ参照)へなへなするさま	へながあで(〃)背中あて	へなが(し参照)背中	ーべなだろうな	へな、入れるな	へ どもの(し参照) せともの	へどもおまねえ何とも思わぬ	ーベども 「だろうけれども(そだ	へとへと 幼児の頭上の脈を打つ部	へんころ~〃)〃
へらずぐ	へらざ	へらかずぐ	べら	へら(ふ参照)	へよ(し参照)	へゃぐしぃろ(ひ参照)	へめる(ねぇ)(し参照)	へみす	へばね(し参照)	へべれきれだ	へペす	へのご	√	へんべ(し参照)	へびのでればず	へびたまぐら
しゃべり過ぎ	いろりのかか座	食事中飯が不足する	のべら)	年長の妻、飯盛り	しろよ	ひ参照)腸	し参照) 攻める	稗飯	沿马里 ·	しびれ気味	淫乱者	"	女の陰部	せんべい	天南星	かたつむり
べろたらす	ベろ	へろ(し、せ参照)	へれねえ	へれでくねぇ	へれてえぐねえ入れたくない	へる(し参照)	へりさぶぎ(し	へりぐず	へり(し参照)	へらわだす	べらり	へらもず	べらぼたがり	べらべら	へらずぐずき	へらめぐ
よだれを流す	よだれ	へろ(し、せ参照)せいろう、入れろ	入れない	入れて下さい	え入れたくない	出来る	ぎ(し参照) 百日咳	へりくつ	世り	主婦権をゆずる	すばやく	主婦の権力	ありあまる者、馬鹿者	焰の盛んなさま、冗言	ずきぐ まけおしみをいう	<i>"</i>

へんと返答	へんてずあねえつまらない、気ぬけした	べんけい おらや麦からで作った串	へわれる ヘ 〃) いわれる	へわれねえ(そ参照) いわれない	へわねえ(し、そ参照)手がかからない	へわねえ(そ参照) いわない	へわすのうへ)へ	へわすねえ(ク)うるさいなぁ	へわすへ /)世話する	へわす(し参照) うるさい	へわしえ(〃) いいなさい	へわさる(/) いわさる	へわさな(そ参遺) いわないで下さい	べろり	べろっと全部、悉く、舌を出すさ	べろたらすいつもよだれを流してい
ほじょ	ほえじょ	はりじょう	ほほ う げ ▲	ぼううず	ぼう	ほいどたがり	ほえど	ぼいだす	ほいず(し、す、そ参照)		Œ		へんへい(し参照)	べんふる	へんとけぇす	べんとあげ
"	,	庖丁	*なねだんだ) 法外、道理外(でほうげ	きそば	追う	けちんぼう	乞食	追いだす	て参照) それ					しゃべる	え口答えする	弁当運搬者
ぼぼっき	ほぎ	ほぎ(は参照)	ほぎ(ふ参照)	ほか が ほか が ず	ほっかぶり	ほがぱら	ぼっかげる	ぼ が▲	はが	ほが(そ参照)	 ほほ っ か	ほえる	ぼえら	ほやあがる	ほうにはばげる	ぼうと
棒きれ	た杉葉製で球状のもの昔酒会の店頭に目印とし	等	蕗	温み味があること	頰かむり	本妻以外の子	おいかける	うそ、うそをいう人	外、よそ(ほがのふと)	そうか	(これほかねぇ)	泣く	急に、だしぬけに	大いに泣く	る方法がない、せっぱつ	もみ錐

ľ.	まっけま	ぼほげま	ほげえてお参照)	ははっぺだ	ははっけえ	ほげ	ほくめぐ	ぼぐど(ふ参照)	ぼんぐそ	V 5	₹ <*▲ F	ぼんぐえ	ぼっくえ	ほぎだす	ほぎだ(ねぇ、る)	ぼで	ぼぼっきり
		老馬	盆供養	<i>1</i> /	ほほ	長木くずやの屋根に使用する	ほくほくするさま	杖、(木刀)	太い棒状の糞	その上に香をたく材料	はロ、栗の木に生ずる	"	棒くい	はきだす	芽を出した	"	"
N d d	まとずかぎ	ほず	はず	ほすてえ	はす	ほじょどり(あ参照)	ぼしえる	ほしえる(らがす、ねぇ、だ)	ほそけ	はすし	ぼさま(し参照)	ほごり	ほほっこむ	ほごす(たれる)(ふ参照)	ぼっこ(ひ参照)	ほご	ぼげる
		法事	覚え	"	ほしい	照)ほととぎす	のぼせる、ぐれる	、ねぇ、だ)乾く	"	細い	盲の男、あんま	ごみ (砂のような)	埋める	し)(ふ参照) ほぐす	赤児	そこ	老人の知覚消失
は ん ブ ジ え	は、だ(そ、ん参照) そうだ	ぼそめぐ	ほすもず	ぼづめぐ	ぼずめがす	ほすぱずる	ぼぼずっこか	ほすける	ほずくる	ほすくそ	ほずぐ	ほずぎまる	ほずぎ	ほずあねえ	はずっつだ	ぼずこ	ぼぼしんす
, ,	るうだ。	ぼそぼそする	干した餅	砂塵もうもう	砂塵をたてる	乾葉汁	s, t	小さく萎びる	ほじくる	流れ星	つつく	力々歩き廻る、あちこち	ほうずき	覚えがない	正気ついた	"	いが栗頭、男の子(卑称)

はだべ(そ、ん参照)そうだろう	ほだば(そ、へ、ん参照) そうだとすれば	ほだねえ(そ、ん参照) そうではない	ほたに(そ参照) そのように	ほだな(〃)その通りだ	ほんたな(そ、ん参照) そのような	ほんだて ク シク	ほだだて(そ、へ、ん参照) そうはいっても	ぼんだす(される、しぇ) 追い出す、離縁す	ほだけ(そ、ん参照) そうだった	ぼんなぐる。	ぼったぐる追い廻す	ほったぐる 掘りおこす、掘り散らす	ほだぐ 誇大視する、さわぎ廻る	ほなだす(〃)〃	ほだがら(〃) それだから	ほだす(そ、ん参照) そうだ
ほでえくてえねえ。意識せぬさま	ほでえ 意識	ほでえ(そ、へ、ん参照)をれでは	ほつらず 掘りちらす	ぼつめぐ 埃がたちあがるさま	ぼっぽり 急にたおれころぶさま	ぱつっと少し、小穴のあくさま	ぼっつ(し参照) 帽子	ほったらがすくいったらがす、すててお	ぼっつぐ(お参照) 追いつく	ぼっちょる(お参照) 折る	ほっちゃ(そ参照) そちらの方へ	ほだんこ	ほだろ はたる	ほんだら(^、そ、ん参照) それなら	ぼだもずおはぎ	ほだ。ほだ(そ参照)そうだそうだ
ほにさあ	ほに	ぼぼんな ぐる	ほどりくしえ	ほどり	ほどむす	ほどこ	ほどげまぶり	ほどげ	ほどげ	ほどあぐ	ぼいと	ぼしと	ほど	ほどでる	ほでえねえ(そ)	ほでえねえ
なるほど	本当に	追い払う	ひなたのにおい	暖かみ	炉の火でむしやきする	土	長兄	とけ	仏	炉の中心の熱い灰	ク急に、いきなり	ぼろ	炉の中心の火、炉の底、	らむ 熱がある、熱っぽい、赤	え(そ、ん参照) そうではない	記憶がない、乱雑状態

ほまつこ	ほまず	ぽぽやぎ	ほほげえほほ	ぼんぼこ	ぼんぼ	ぼばこ	ぼぼかす	ぽ ぽ っ ぱ	ぼへんとす	ぼぼんばな	^{はは} んのぎ	ほねはだげ	ほねがら	ほねから	ほにほに	ほにす
ク私生児	へそくり、私銭	れてやいたものいかの腹の中に味噌を入	はげえ、乳幼児のなき声	"	"	なっていない物つぼみ、球、先が鋭利に	ごまかす、馬鹿にする	着物(幼児語)	ぼんやりする	ききょう	ほうの木	きりみだし	魚の残骨	骨、骨格	さてとしたことか、さて	本当にする
ほろほろ	ほろばす	ぼろつもず	ほろす	ほろける	ほろぐ(がねぇ、げ、た)	ぼろ	ぼろ	はれ	ぽほ ら ん	ぼやめぐ	ぼやりもの	ぼやり	ぼやすけ	ぼや	ほもぐる	ほもぐりけえす
若芽のあえもの	ほろぼす	肌の悪い餅	蕁麻疹	失神する	、げ、た) 落す、ゆすりおと	使い古した布切	馬糞	それ	空虚	ぼんやりする	,	ぼんやり者	"	ぼんやり者、失火	"	す掘りかえす
まだらへえ)	まえ	まかれたこ	ま わい ええ	ましんつず	まあんづず	ままっこ	*		ま		ほんとなす	ほんとぬが	ほんとだが	ほんてもの	ほんこ	ぼろめぐ
つぐなう、弁償する	つぐなえ	"	あいま、ひま、間	"	先ず	ĥ	馬				本当の話	"	本当か	本物、玄人、本式	剣勝負本物、真剣、遊戯上の真	ぼろぼろするさま

まぐねえ	ま ご(く) ど	まるぼず	まぐれ	まぎめ	まぐりがじぇ	まぎがじえ	まぎ(み参照)	まが▲	まがる	まがりや	まがりまずがって	まがねええ	まがってみる	まんがあれえ	まが	まえかえ(も参照) もう一度
うまくない、まずい	本当	,	"	頭のつむじ	"	旋風	系統、一族	曲る、傾く	こぼれる	曲屋、鍵形の茅葺家屋	2つて 間違って(強める意)	蒔付けしない	のぞいてみる	馬鍬を洗い清める祝い	馬	照)もう一度
まさや	まさがるり	まざが	まごゆうえ	まごだぎ	まごずぐ	まげる	まげる(だ、ろ)	まげおすみ	まげえ	まけげ	ま げ▲	まぐれえ	まぐらさげ	まぐらう(え)	まぐら	まぐねえであ
柾葺家屋	まさかり	まさか、よもや	"	孫祝い	まごつく	す、からにするいう(うそまげる)こぼ	負ける、値段を安くする	まけおしみ	まがい、似せて作ったも	蒔きつけろ	おく二階をいうや「まげ」の上にあげて藁、茅、俵等を「にわ」	食べろ	病人、産婦の全快祝い	喰う	枕	,
まずのぎ	ますといぎ	ますだめ	まずずげえ	ますこす	まずげえ	ますあほすも	まずあたず	ます	*	ーます	まじゃる	まんじぇらぐ	まじえる	ましえでる	まじえこじえ	ま し え げ [▲] ぎ▲
松の木	もう一息	まぐさ桶	買物のため町遣い	もう少し	眉毛	ますあほすものほすてらあったけ	町がたつ、市がたつ	まわす、くばる、枡	猿	あります	まじる、群に加わる	対別(1)からず の無事安全を祈る呪文、 万才楽の訛りで、地震等	混合する、交える	ませている	雑多 入り交りたるさま、種々	れぬよう交えた横棒 馬小屋の入口に馬が出ら

まりくらご	まら(す、た参照)	まやめがす	まやで(め参照)	まやがす	まやら(る)	まや	まめでだが	まめこちゃわん	まみず(だ)(た参照)	まみ(す参照)	ままたぎ、み参照	まなと	ままあっぱ	まん ま(み、め参照)	まだぶ)	まぶす
廻りくらべ	陰茎	あいまいにする	まえかけ	まやかす	償う	うまや	丈夫でいたか(挨拶)	まめこちやわんこ(し、す参照)どんぐり	照)健康	虱	ままたぎ(み参照)下女、女中、お手伝い	び、しとり、こま結	後妻	飯	守る	少しふりかける
		まんべんねえ	まんぱず(もの)血まなこ、	まんさぐ	まれる	まるめ	まるぼず	まるっと	まるって	まるこ(お参照)	まんまるけ	まるけ	まるぐ(がねょ、げ)東ねる	まるっきり	まるきぱ	まる(らねぇ、れ)
		行届いている)) 血まなこ、半狂乱	福寿草	生れる	まるめろ	丸坊主	すっかり	まるで	便器	〃 (完全)	円い	り、束ねる	皆、すべて、全く	車前草	- 廻 る
みずか	みず、おどす	みずうおず	みずうあべ	みずう	みず	みず	みず(ま、め参照)	みさる(め参照)	みご▲	みげえす	みぐすれ(め参照) みにくい	みぎり(に参照)	みがげ(め参照)		み	
短衣	11. 11.	みぞおち	水泳	水	山菜の一種、針の穴	道	飯	なさる	藁の芯	見返し) みにくい	右	みかけ、外見			

みずけえ	短い	みっきど	油断なく、一心	一心不乱に	みはらがす	見晴らし
みすたぎ(ま参照)お手伝い、	🖔 お手伝い、女中	みっきり	"		みべええ	見栄よし
みずはり	水まき	みっすど	<i>"</i>		みべえねえ	見栄がない
みずます	洪水	みっきどかがる(れ)	る(れ) 一心になる	なる	みまぎ(ま参照)	親類
みすよう	日曜	みみっと	見物人		みみきかしえ	耳語
みずれえ	見にくい、見るにたえな	みよど	"		みみだれ	中耳炎
みずれなす	いくごなし、能なし	みてえな	見たいな		みみなりすずめ	め、恐しさがなくなった恐しさが習慣ずいて
みずれねえ	見ておれぬ	ーみでえな	一のような		みみのたぷたぷ	
みそつけだ	失敗した	みでくねぇ	ごらんになって下さい	下さい	みもず	妊婦
みそっぱ	虫くい乳歯	みでごじぇ	"	(ク)	みやぐ	脈
みだぐなす	する) 醜い奴(主に女子に使用	みでたもれ	<i>"</i>	(みよんけな	妙な
みったぐねえ	見るのがいやだ	みどご	骨のない(魚)肉		みらえねぇ	ない、ふた目とみられな見られない、見つけられ
みっだぐねえ	みにくい、みっともない	みな	みるな		みらさな	見ないで下さい (敬語)
みっとあねえ	<i>"</i>	みなぐず	田の水の取り口		みらさなや	ク(念をおす)
みださけえに	みたのに	みねえ	見ない		みらしえ	みなさい
み だ ど	とだ。みたというとみたのか、みたというと	みねえます	見ませんよ	(敬語)	みりめぐ	い人の昆錐の余地のな地震等で家がみりみりす
みだな	確かこみにであろう	なつぎたよしばし	つぎく ノー トー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		1	しつの孔奈

むがれどぎ	むがつら	むがつね(も参照)	むかめぐ	むがずぐ	むがす	むか	むやす	むやかす	むなけらがす	むすける	むげる	むえる	むいける		む	
誕生日	顔(卑称)	むこうずね	"	胸がむかむかする	昔	気短か	"	"	孵化させる	"	"	"	かえる、孵化する			
むし、る	むぞい	むじょい	むじえけ	むじえ	む すし ええ	むごう(も参照)	むご	むげがら	むげえ	むげぇ	むぐれる(も参	₹ ~	S < ▲	むぎになる	むぎけえ	むぎかで
むせる	"	,	"	かわいそう、むごたらし	仲々つきない、長持する	向う	むこ	せみ、へび等の脱けがら	向い	迎え	むぐれる(も参照) むくれる、そりかえる	漏す		些細なことに本気になる	麦がゆ	麦の入った飯
むする	むむんずり	―むずら(ま参照)	むすめぐ	むすぼき	むすび(に参照)	むすのご	むすっと	むんづける	むほたがり	むずけもの	むずけたがり	むずくれる	むずがす	むすかす	むす	むじょやな
る、盗む	筒袖着物	感) (皮むずら) ―と共に、と一緒に	むし暑い、群がる	むした北寄貝	握り飯	虱の卵	機嫌むっつりと言葉少なく不	泣く	/ 無法者	11	へんくつもの	すねる	むずかしい	表面に出ないで行動をす	音放屈	かわいそうに